

# 三井住友海上 中期経営計画 Next Challenge 2017 (2014年度～2017年度)

当社の中期経営計画「Next Challenge 2017」は、MS&ADインシュアランス グループ中期経営計画「Next Challenge 2017」(P.15に記載)と基本戦略を同じくしています。「世界トップ水準の保険・金融グループ」の実現に向け、中期経営計画「Next Challenge 2017」を力強く推進します。

## 計画期間および位置付け



(注)ERM(Enterprise Risk Management): 統合リスク管理により資本の十分性を確保するとともに、資本効率を高め、持続的な成長を実現するサイクル。

## 事業領域ごとの戦略

国内損保事業	販売戦略	個人のお客さまの多様化するニーズへの対応力強化、成長領域の確実な捕捉および少子高齢化対策を推進し、増収率No.1を実現します。
	商品戦略	外部環境変化を踏まえた商品開発と的確な収支対策により、利益の拡大を図ります。
	事務戦略	業務プロセス改革、団体募集・事務改革等により、品質・生産性の向上を図ります。
	損害戦略	損害調査力の強化、お客さまの期待を上回る事故対応の推進、機能別集約と役割最適化により、競争力および品質と生産性の向上を図ります。
	資産運用戦略	政策株式削減、流動性の確保、ALMの高度化を進めて財務体質をさらに改善するとともに、効率性の観点からポートフォリオを見直し収益性の向上を図ります。
海外事業	海外地域事業	各国・地域の市場成長を捉えた成長の実現と安定的な利益の拡大を図ります。
	海外再保険事業	リスク・リターンの向上を目標に事業規模の拡大を図ります。
	アジア生保事業	出資先の経営管理・リスク管理体制の強化を図るとともに、販売チャネル等の強化を進め、安定的な利益の拡大を図ります。
金融サービス	各事業ラインで外部環境の変化やお客さまニーズに的確に対応し、利益の拡大を図ります。	
各事業領域を下支えする戦略	品質戦略	「遵守すべき品質」を確保した上で、「当然品質」を定着・徹底し、「感動品質」を追求します。
	人財戦略	人財育成を競争力の源泉と位置付けることで、学ぶ責任・育てる責任を徹底し、「最強の職場」を創造、会社全体の生産性・競争力向上を実現します。
	システム戦略	人財育成とシステムリスク管理体制の強化により、品質・コスト競争力・開発スピードを兼ね備えたシステムを構築します。
事業費削減による収益性向上	生産性・効率性の向上により事業費削減を実現します。	

## 全社取り組み(Be プロフェッショナル for all)

当社は、2014年度から、全社を挙げて「Be プロフェッショナル for all (略称: Beプロ)」に取り組んでいます。

人財力を結集して「最強の職場」を創造し、最強の職場が「成長し続ける人財」を育てるというスパイラルを確立することにより、会社全体の競争力を高め、さらなる成長の実現を目指していきます。

※推進名称の「Be プロフェッショナル」には、すべての社員が自らを磨き続け、常に品質の高いサービスを提供することのできる「真のプロフェッショナルになるう」との想いが込められています。

また、プロフェッショナルを目指すことが、「職場のみんなのため」「すべてのステークホルダーのため」であることを「for all」として表現しています。

